Dell™ Latitude™ XT2 XFR

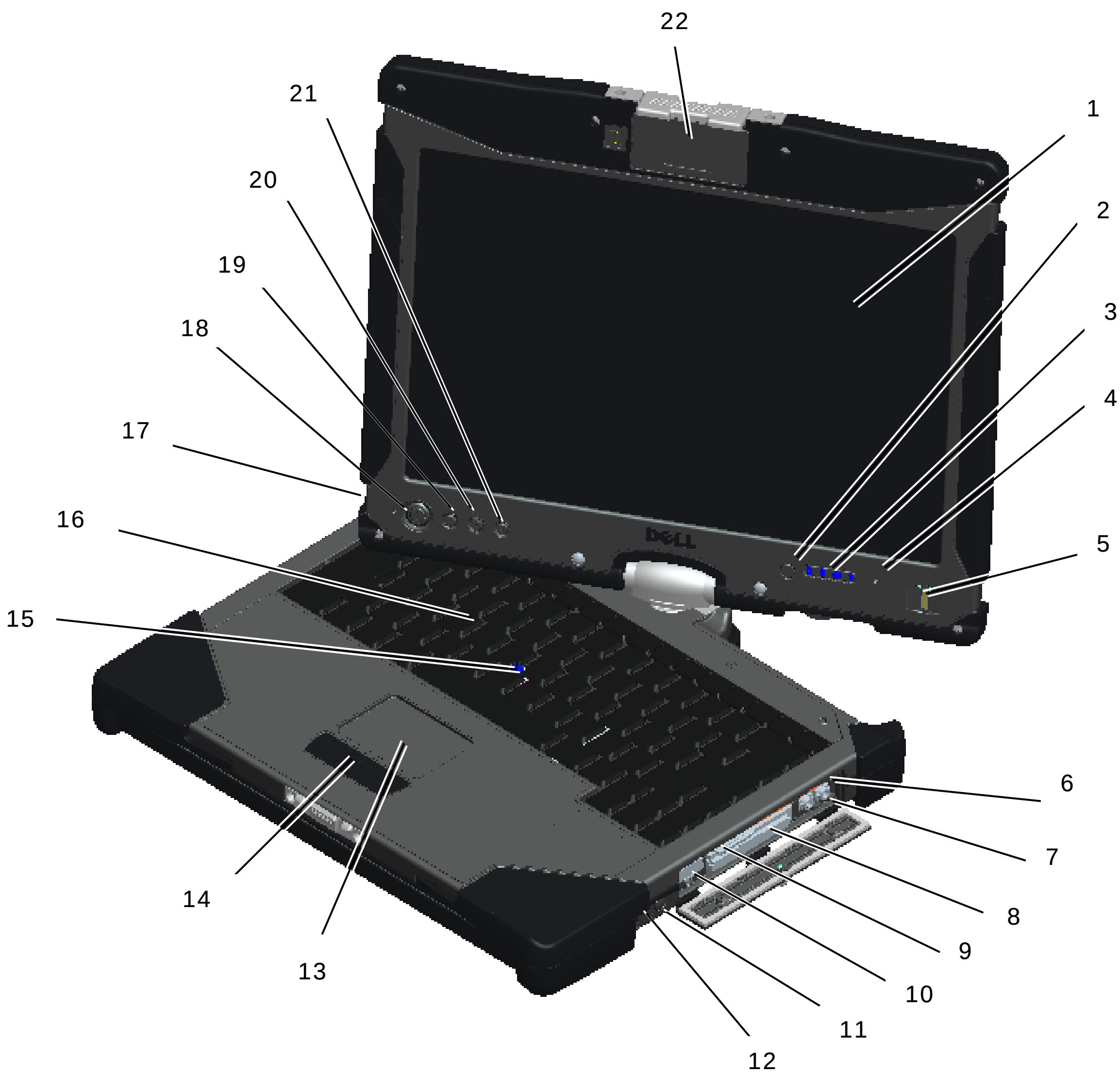
セットアップと機能について

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

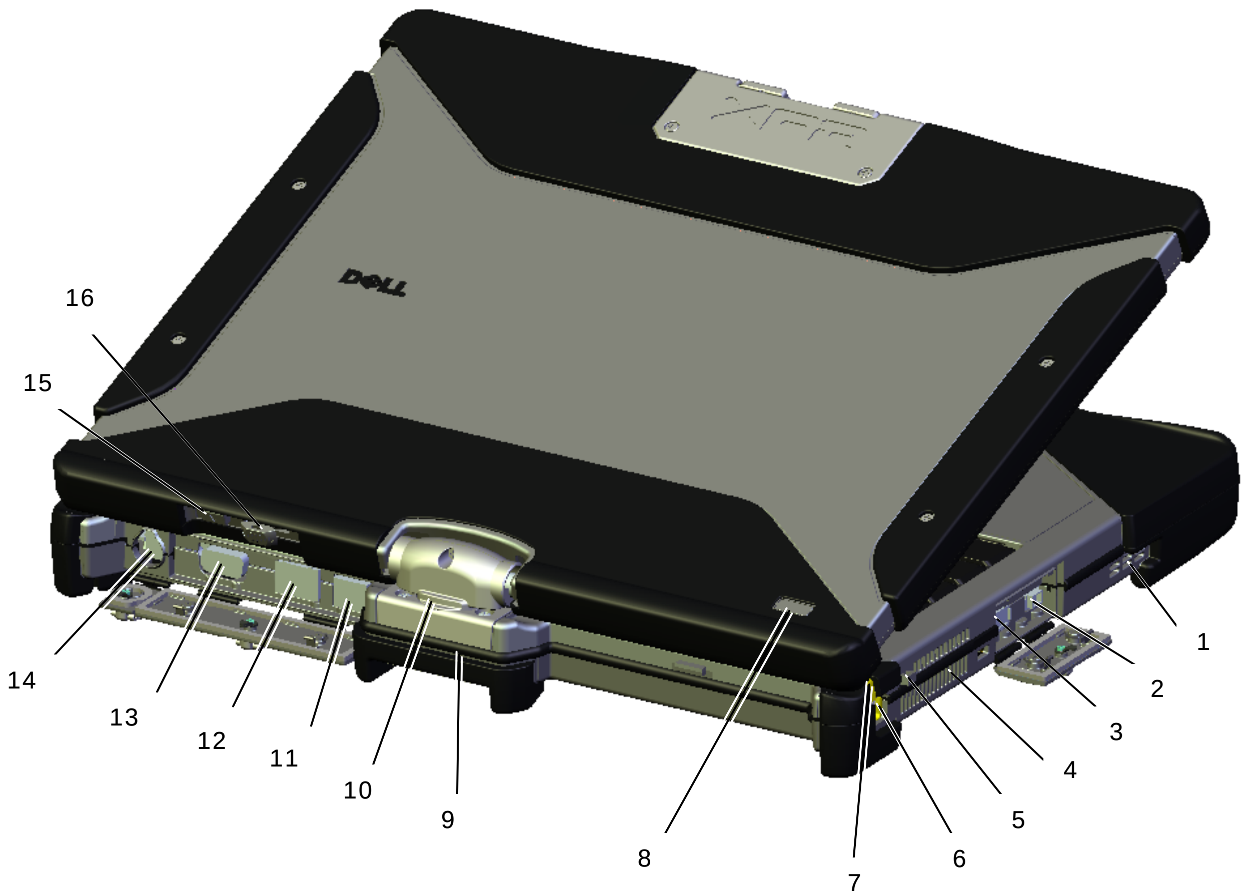
正面および右側面図



1 ディスプレイ
2 周辺光センサー
3 デバイスステータスライト
4 デジタルアレイマイク
5 バイオメトリックリーダー
6 マイクコネクタ
7 ヘッドフォンコネクタ
8 ExpressCard スロット
9 SD カードスロット
10 USB/e-SATA コンボコネクタ
11 Wi-Fi Catcher™ ボタン
12 無線オン/オフ スイッチ
13 タッチパッド
14 タッチパッド/トラックスティックボタン
15 トラックスティック
16 キーボード
17 デジタルアレイマイク
18 電源ボタン
19 Windows セキュリティボタン
20 画面回転ボタン
21 Dell Control Point (DCP) ボタン
22 ホットスワップ対応モジュール：カメラまたは GPS（オプション）

メモ：WLAN と WWAN をトグルするには <Fn><F9> を押します。Latitude XT2 XFR は WLAN モードと WWAN モードの同時処理を行えません。

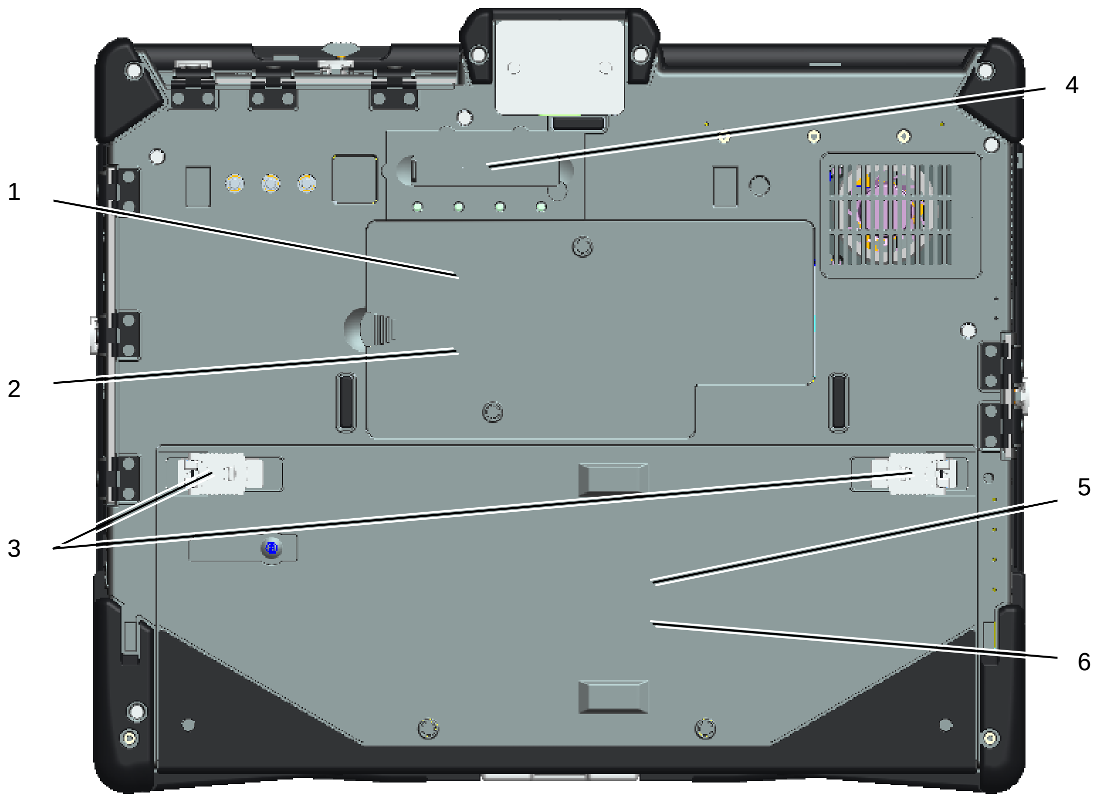
背面および左側面図



1	スピーカ	9	タブレットグリップ
2	IEEE 1394 コネクタ	10	回転ヒンジ
3	USB コネクタ（電力共有用）	11	パワード USB コネクタ
4	QuadCool™ 温度管理	12	ネットワークコネクタ
5	ペンテザーアンカー	13	ビデオコネクタ
6	ペン	14	AC アダプタコネクタ
7	ペンインジケータ LED	15	タブレット戻るボタン
8	電源/バッテリ充電インジケータ	16	スクロールコントロールボタン

警告 : 換気口をふさいだり、物を押し込んだり、または埃がたまらないように注意してください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境に Dell™ コンピュータを置かないでください。空気の流れを遮ると、コンピューターに損傷を与えたり、火災の原因になる場合があります。コンピューターが高温になると、ファンが作動します。ファンのノイズは正常であり、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

底面図



1	メモリアクセス	4	ドッキングコネクタ
2	無線アクセス	5	ハードディスクドライブアクセス
3	バッテリ & HDD ロックラッチ	6	バッテリアクセス

注意：誤った種類のバッテリを使用すると爆発の危険があります。使用後の電池は指示に従って廃棄してください。

警告：本機器は、モバイル用外部取り付けアンテナ向けのポートリプリケータとの接続に外部アンテナコネクタが装備されています。本製品で使用が許可された外部アンテナは、AP-Quad Mode コンボアンテナです。外部アンテナは専門家によって設置される必要があり、各指定帯域：2.4GHz (3.24 dBi)、5.2GHz (3.73 dBi)、5.5GHz (4.77 dBi)、および 5.8GHz (3.87 dBi) で推奨された最大アンテナゲインを超過することはできません。また、ユーザーは、無線操作中に外部アンテナと人体との間に最低 20 cm のスペースを確保する必要があります。

注意：本製品は屋内での使用のみに限定されています。本製品は FCC により、モバイルサテライトシステムのチャンネルの干渉を最小限に留めるため、周波数範囲 5.15-5.25GHz で屋内にて使用する必要があります。5.25-5.35GHz および 5.65-5.85GHz 帯域の主要ユーザーは高出力レーダーです。これらのレーダー局は本製品に電波妨害を引き起こし、かつ / または破損させる恐れがあります。

I/O ドア操作

コンピュータのすべてのポートおよび I/O コネクタは I/O ロックドアの裏側にあります。I/O ロックドアを開くには、次の手順を実行します。

1. 下の図では、ロックドアは閉じられ、ロックされた状態です。ドアフラップを持ち上げます。



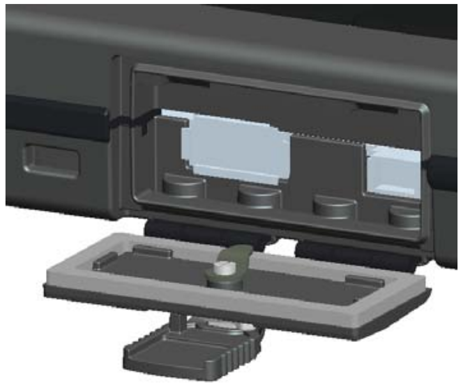
2. ドアをロック解除するには、フラップを 180^0 時計回りに回転します。



3. フラップを引きドアを開きます。



4. 現在ドアは開いた状態です。



5. ドアを閉じてロックするには、この手順を逆の順序で実行します。

クイックセットアップ

警告：本項の手順を開始する前に、コンピュータに同梱の安全に関する情報をお読みください。安全に関するベストプラクティスの詳細については、www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。

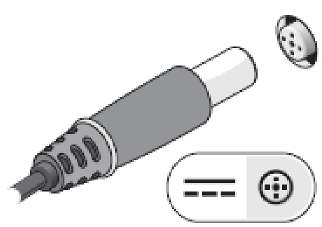
警告：AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。しかしながら、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続すると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意：AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合、ケーブルの損傷を防ぐため、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。AC アダプタケーブルを巻くときは、ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタのコネクタの角度に注意してください。

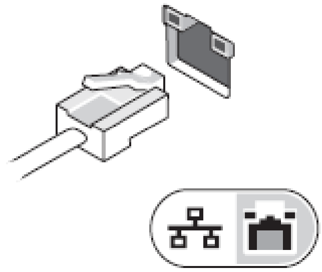
メモ：お客様が注文していないデバイスは含まれていない場合があります。

メモ：すべてのポートおよび I/O コネクタは I/O ロックドアの裏側にあります。上記の I/O ドア操作の項を参照してください。

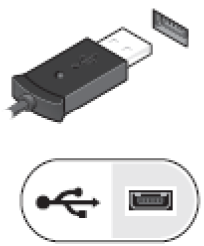
1. AC アダプタをコンピュータの AC アダプタコネクタとコンセントに接続します。



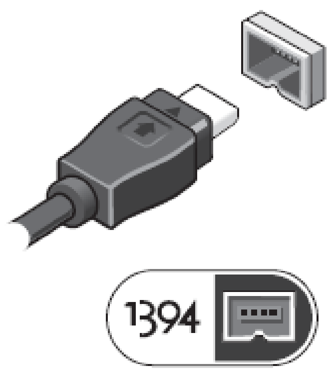
2. ネットワークケーブルを接続します。



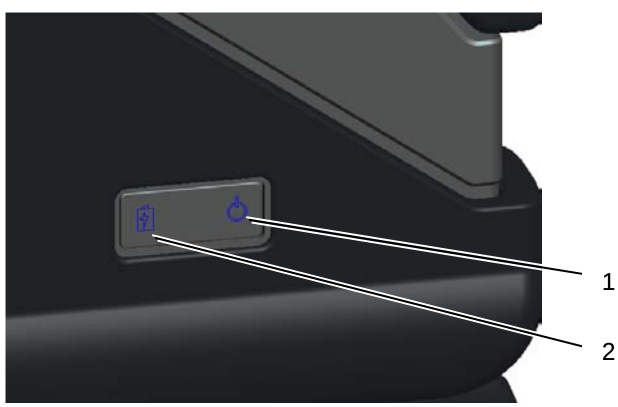
3. マウスやキーボードなどの USB デバイスを接続します。



4. DVD プレーヤーなどの IEEE 1394 デバイスを接続します。



5. コンピュータディスプレイを開き、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。



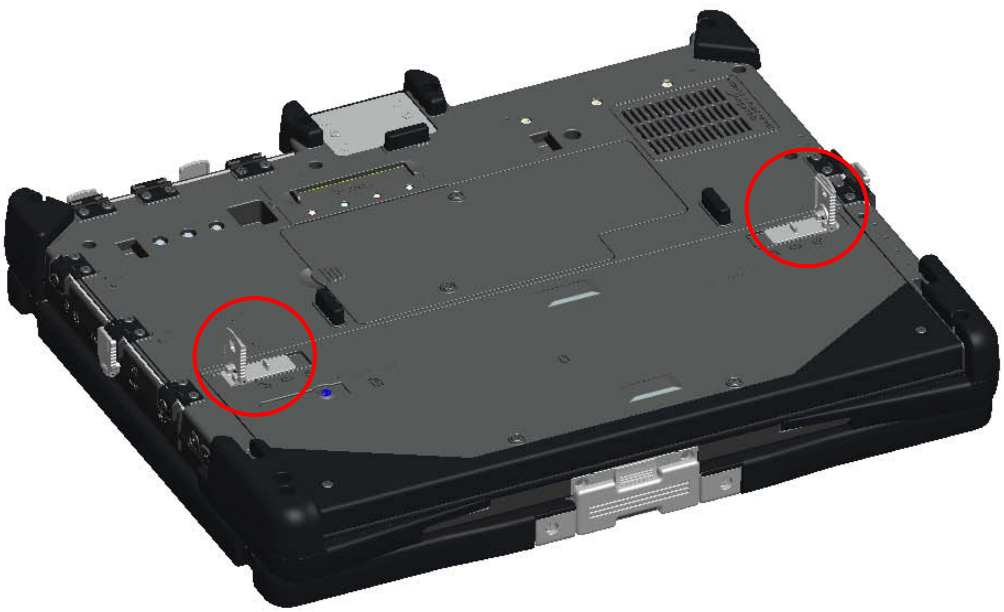
1	電源インジケータ	2	バッテリ充電インジケータ

メモ：カードをインストールしたり、コンピュータをドッキングデバイスやプリンタなどのその他の外付けデバイスに接続する前に、少なくとも 1 回はコンピュータの電源を入れて、シャットダウンするする操作を行うようお勧めします。

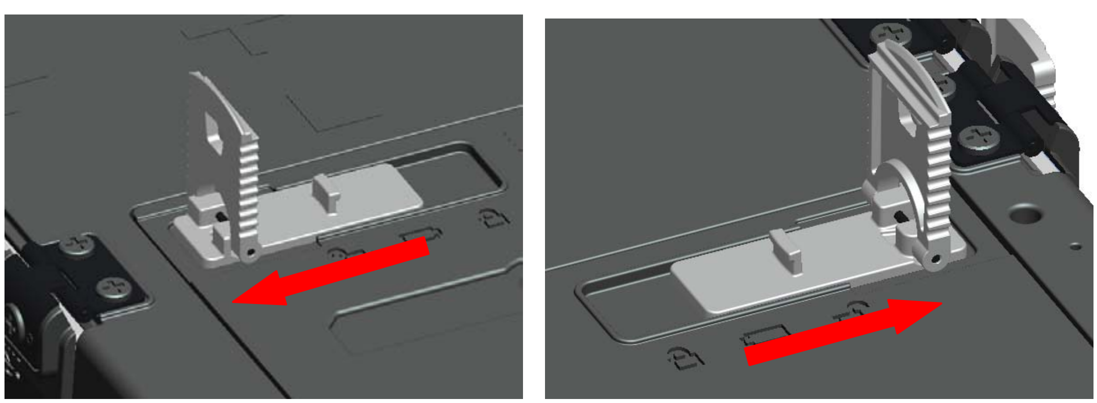
バッテリ

バッテリの取り外し

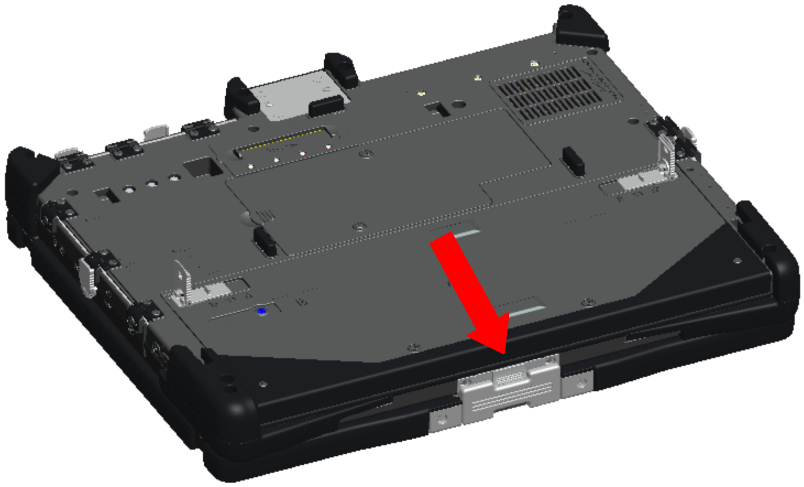
1. コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
2. コンピュータの電源がオンになっているか確認します。
3. コンピュータを裏返して平らな表面に置きます。
4. バッテリの左右にあるロックラッチを持ち上げます。



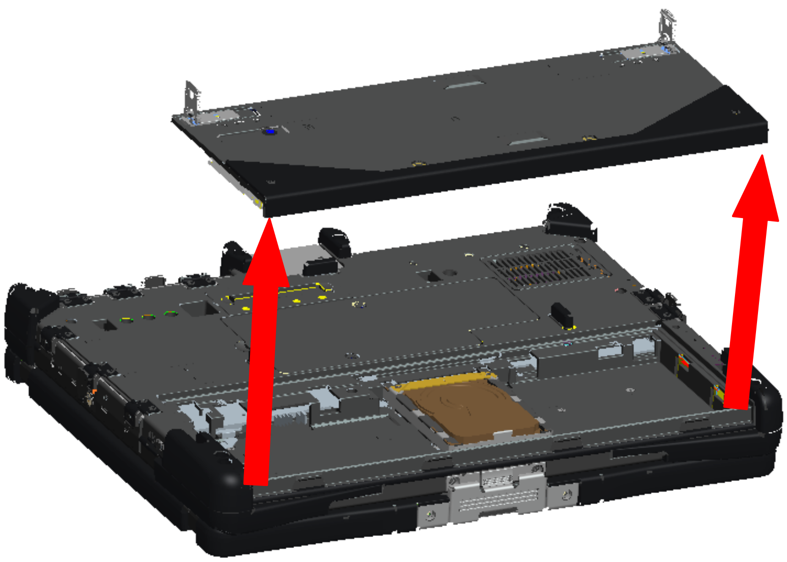
5. 下図のように、ロックラッチを外側に押します。



6. ロックラッチを押しながら、バッテリを約 0.25cm（0.100 インチ）後方にスライドします。

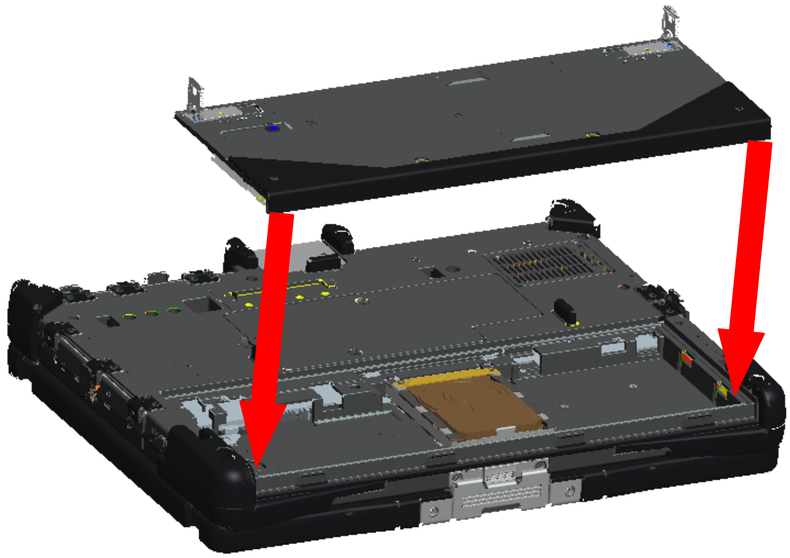


7. バッテリを持ち上げ、コンピュータから離します。



バッテリ交換

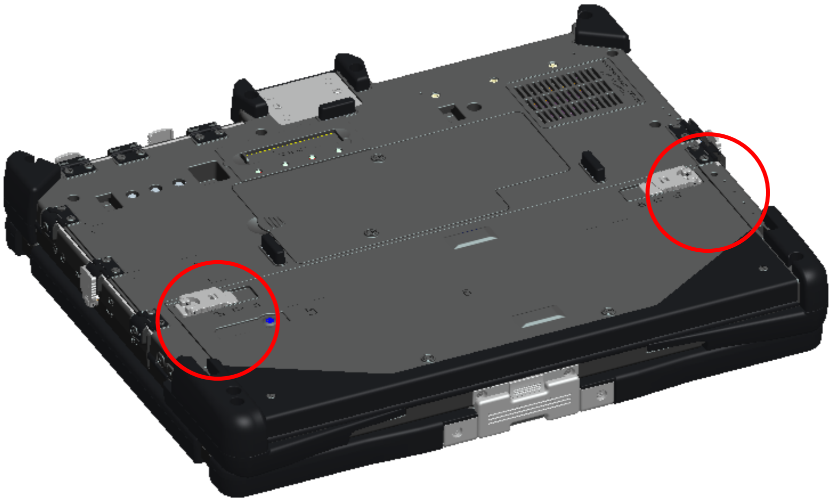
1. コンピュータを裏返して平らな表面に置きます。
2. バッテリを持ち上げ、コンピュータに配置します。



3. バッテリを下図に示す方向に約 0.25cm（0.100 インチ）スライドします。バッテリはカチッという音がして静止すると、ロックされます。



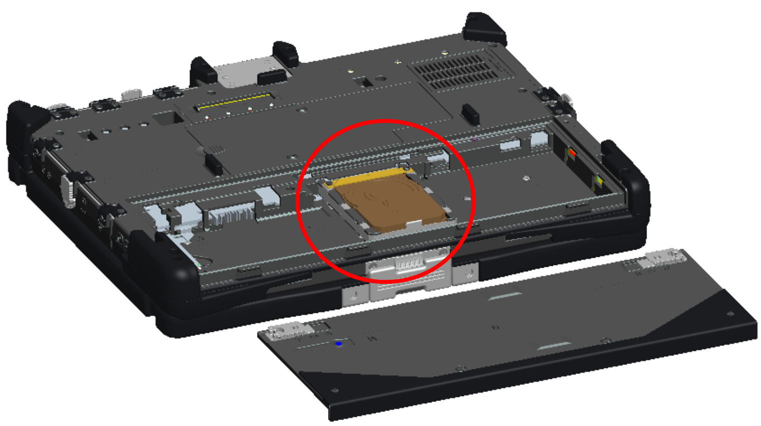
4. バッテリのロックラッチを押し下げて元の平らな位置に戻します。



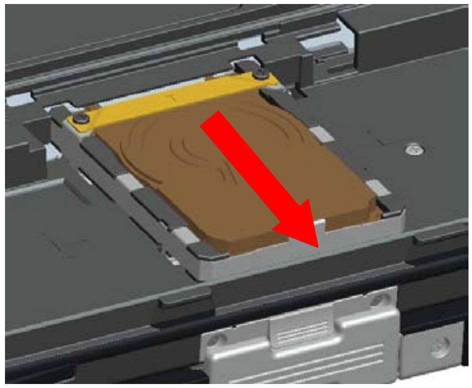
ハードディスクドライブ (HDD)

HDD の取り外し

1. コンピュータを裏返して平らな表面に置きます。
2. バッテリを上記のバッテリの項の説明に従って取り外します。
3. 下図に示すように、バッテリ実装部にある HDD の位置を確認します。

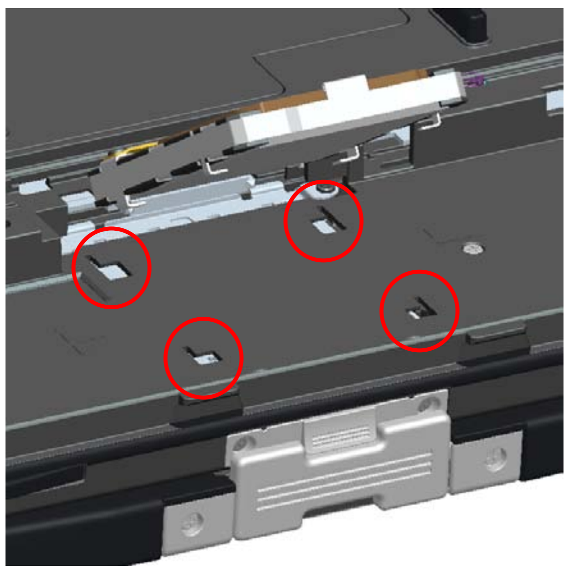


4. HDD を下図に示す方法にスライドし、少し持ち上げて外します。

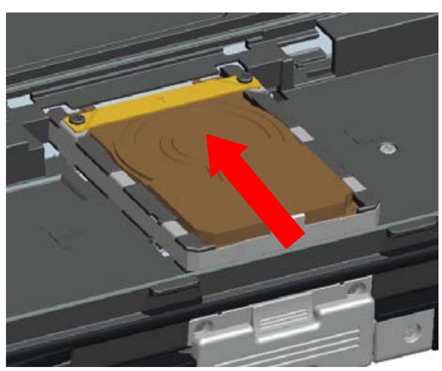


HDD 交換

1. HDD 底部にある 4 つのフックが基部の 4 つのスロットと合致していることを確認し、バッテリ実装部に HDD を配置します。



2. HDD を下図に示す方向にスライドし、マザーボードコネクタに接続されていることを確認します。

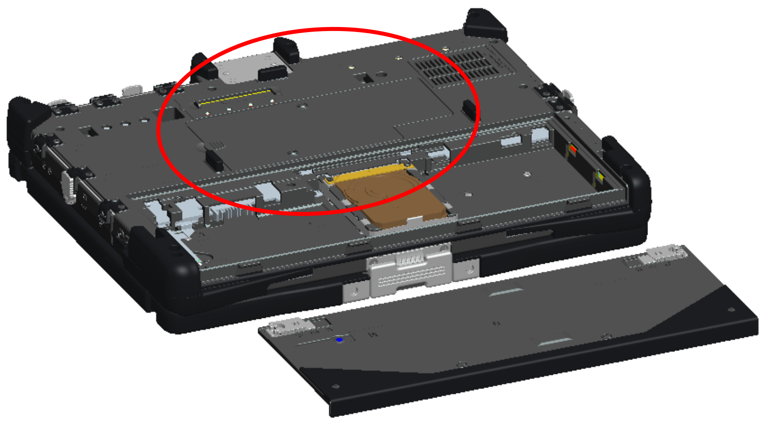


3. バッテリを上記のバッテリの項の説明に従って取り付けます。

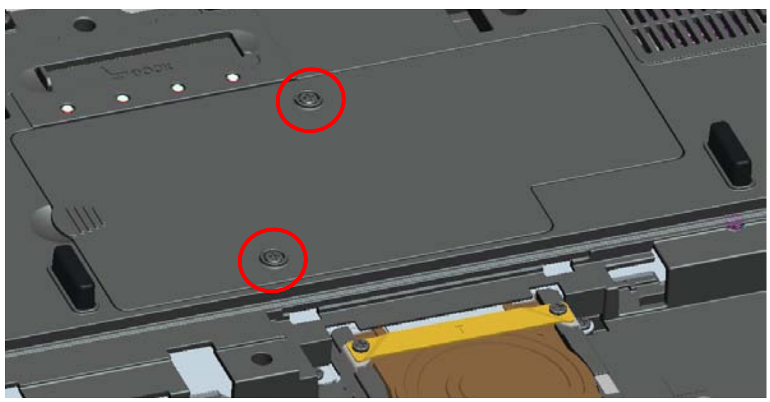
メモリアクセスドア

メモ：メモリの取り外しと取り付けの詳細については、サービスマニュアルを参照してください。

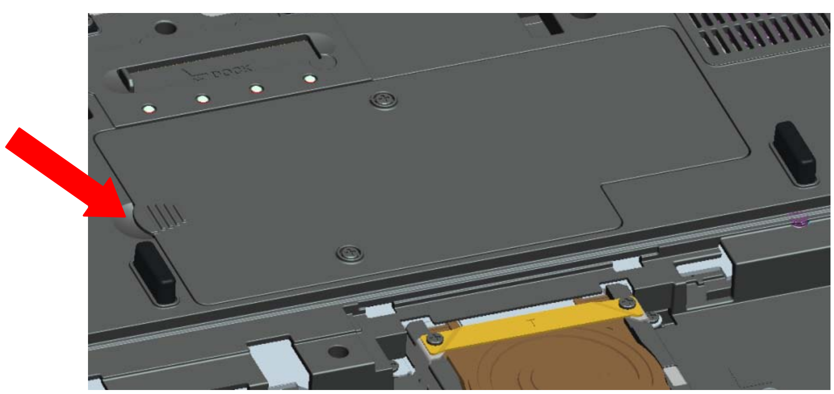
1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2. コンピュータを裏返して平らな表面に置きます。
3. バッテリを上記のバッテリの項の説明に従って取り外します。
4. 下図に示す通り、メモリアクセスドアの位置を確認します。



5. メモリアクセスドアを固定している 2 つのネジを外します。



6. 下図に示すタブを使ってドアを持ち上げ、コンピュータから外します。



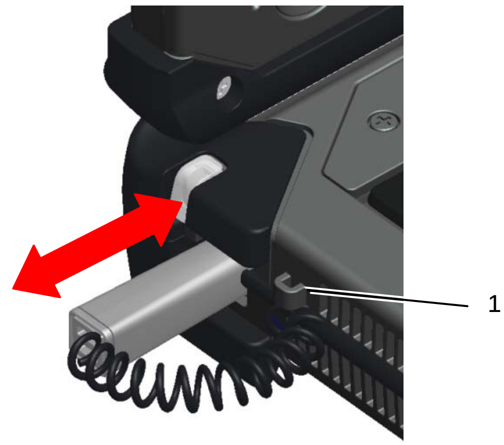
7. これでメモリモジュールにアクセスできます。
8. メモリアクセスドアの取り付けおよび固定は、この手順を逆の順序で実行します。

ペン / テザーの取り付け



1	ペンテザーアンカー	3	ペン
2	テザー		

ペンとテザーは、テザーがループした状態で、テザーアンカーポイントでコンピュータに接続されています。



1 アンカーポイントの拡大図（テザーがループした状態）。

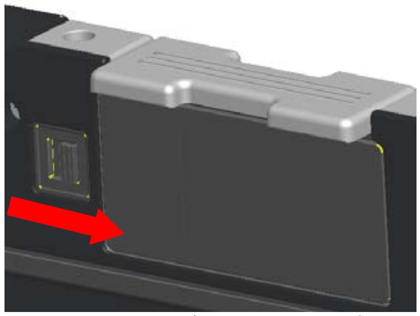
ペンを収納するには、カチッという音がしてロックされるまでペンをペンガレージに押し入れます。
ペンを取り外すには、まずカチッという音がするまでペンを押し、ロックを解除します。これでペンガレージからペンを取り外せます。

ホットスワップ対応モジュール

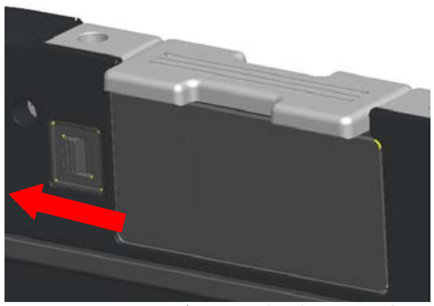
ディスプレイ上部のホットスワップ対応モジュールデバイス部分には、オプションのカメラか GPS デバイスのいずれかを挿入できます。
ホットスワップ対応モジュールカメラまたは GPS デバイスを取り付けるには、次の手順を実行します。

1. コンピュータを平らな表面に置き、ノートブックまたはタブレットモードのディスプレイを開きます。ホットスワップ対応モジュールデバイスを取り付けるディスプレイ上部のエリアを確認します。





上の図はロックがロック位置にある状態を示します。



上の図はロックがロック解除位置にある状態を示します。

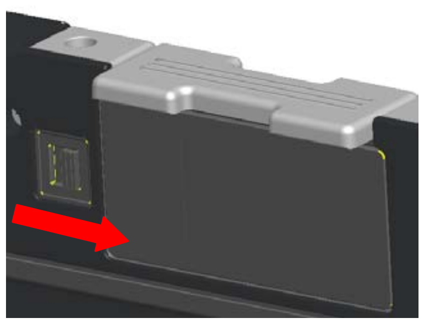
2. ホットスワップ対応モジュールデバイスのロックを移動してロックを解除し、ダミーカバーを取り外します。



3. ホットスワップ対応モジュール（カメラまたは GPS）を挿入します。デバイスが正しく接続されていることを確認します。



4. ロックをロック位置にスライドし、ホットスワップ対応モジュールデバイスをロックします。



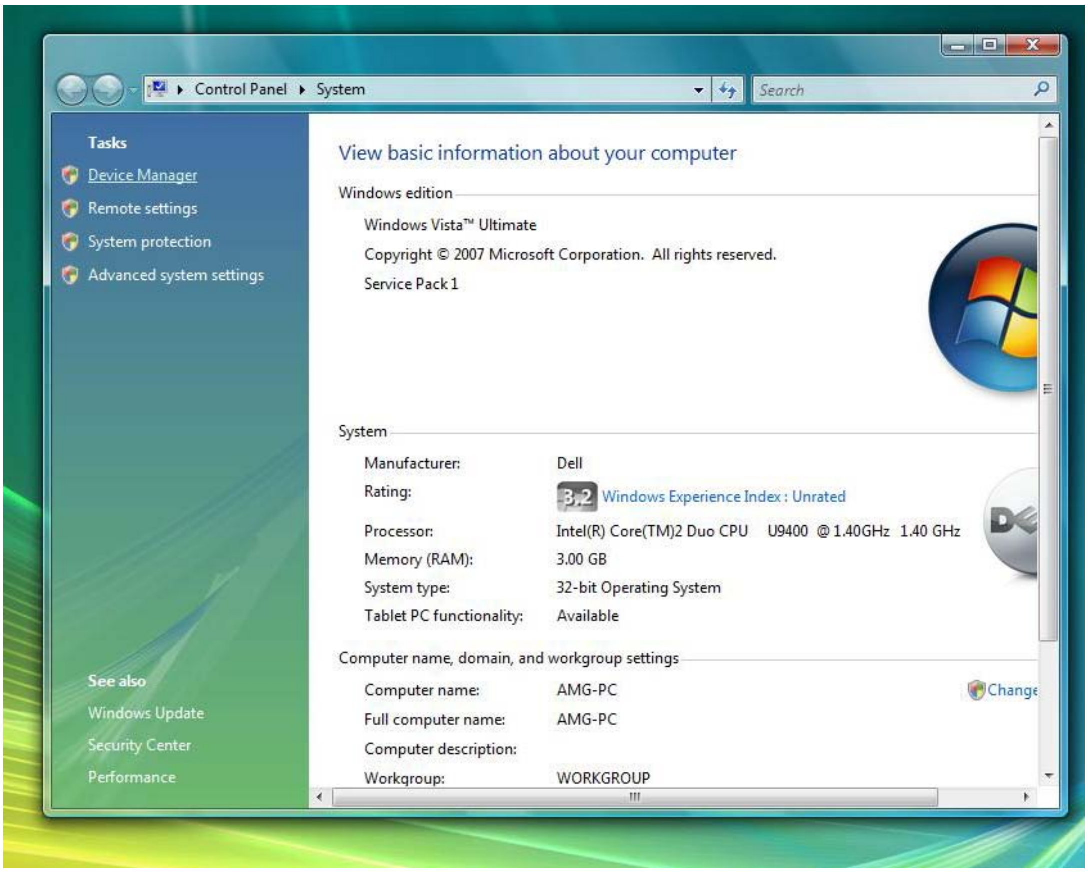
GPS デバイス

上記のホットスワップ対応モジュールの項の指示に従って GPS デバイスを取り付けます。GPS デバイスが正しく接続され、ロックがロック位置にあることを確認します。

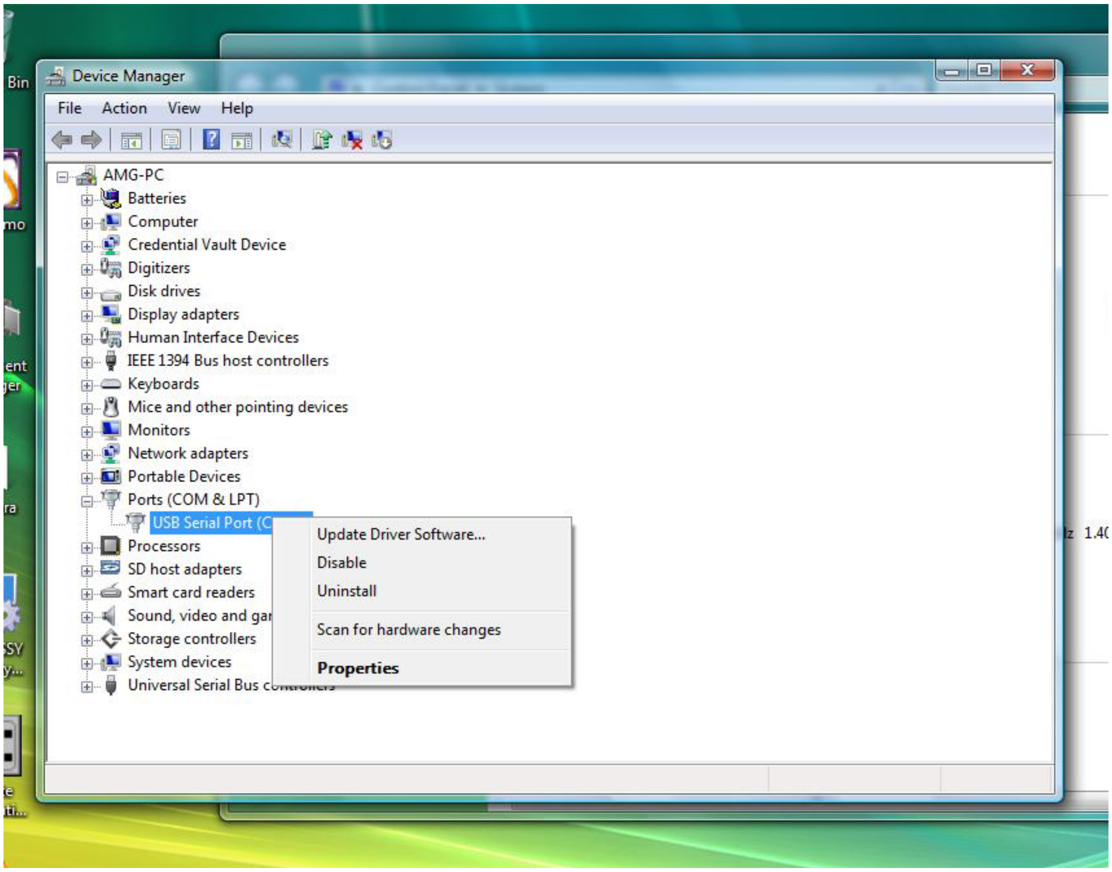
GSP ハードウェア構成

GPS を操作するには、コンピュータのハードウェア設定を正しく構成することが重要です。以下では、操作する GPS に対して通信ポートを構成する適切な手順について説明します。

1. **［スタート］**ボタンをクリックし、**［コンピュータ］**を右クリックして、**［プロパティ］**を選択します。
2. **［デバイス マネージャ］**をクリックします。

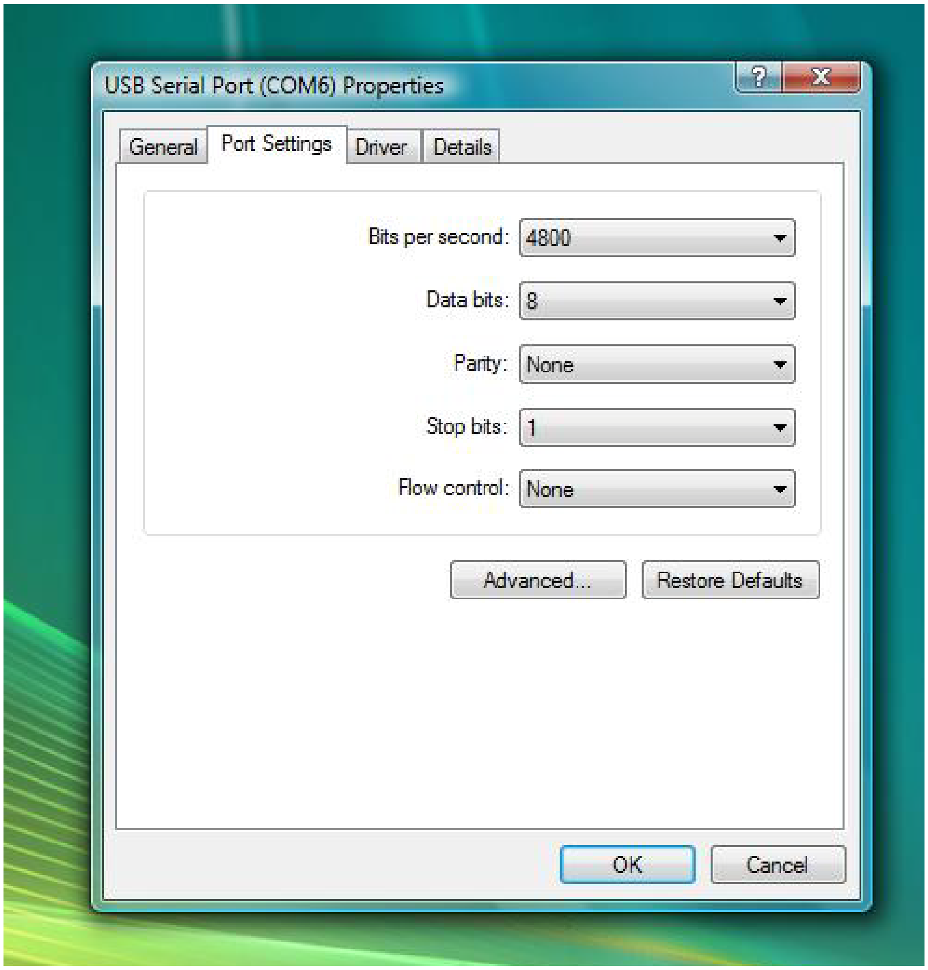


3. **[ポート]** をダブルクリックします。**[USB シリアル ポート (COM#)]** デバイスを右クリックし、**[プロパティ]** を選択します。



4. **[ポートの設定]** タブを選択します。以下の各フィールドに次の設定が割り当てられていることを確認します。

   [ビット/秒]：4800
   [データ ビット]：8
   [パリティ]：なし
   [ストップ ビット]：1
   [フロー制御]：なし



ソフトウェア設定

この GPS モジュールと互換性のある市販および特殊用途のアプリケーションは多く存在します。ソフトウェアがこの GPS モジュールで機能するには、追加設定が必要な場合があります。ソフトウェアメーカーから提供されたマニュアルに従ってください。

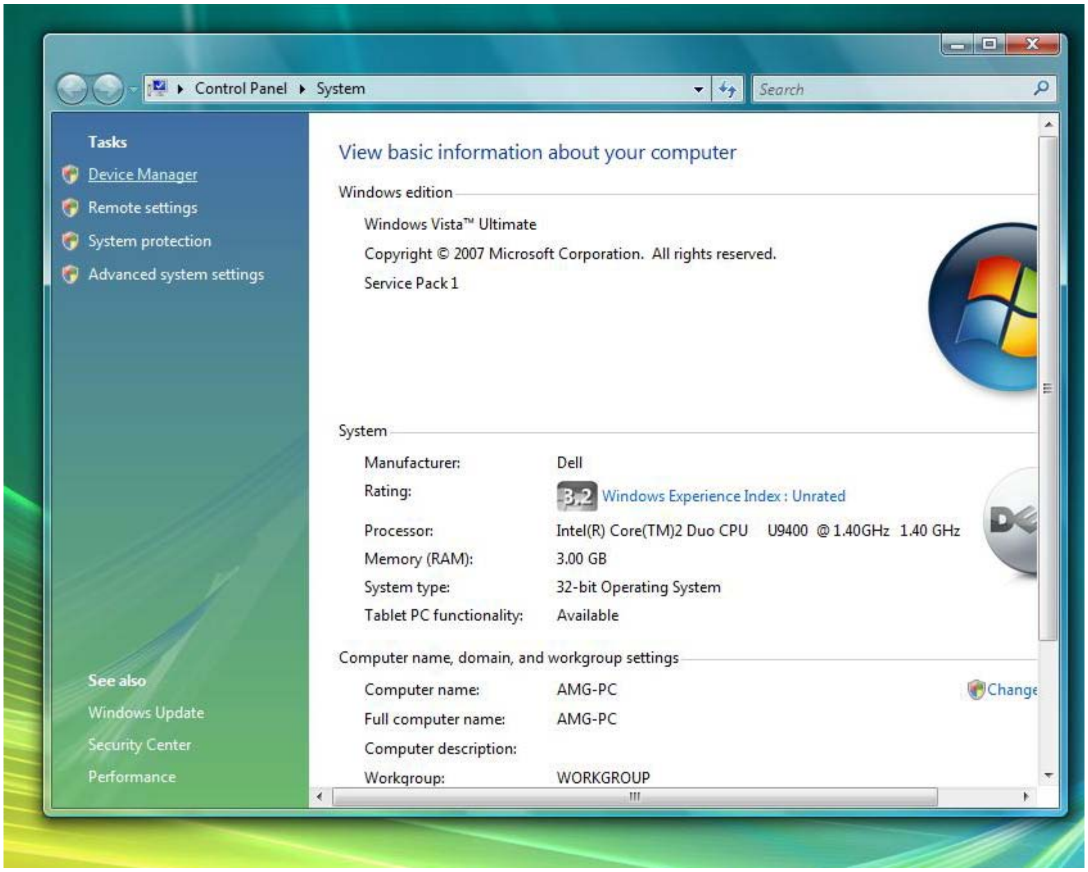
カメラ

上記のホットスワップ対応モジュールデバイスの項の指示に従ってカメラデバイスを取り付けます。カメラデバイスが正しく接続され、ロックがロック位置にあることを確認します。

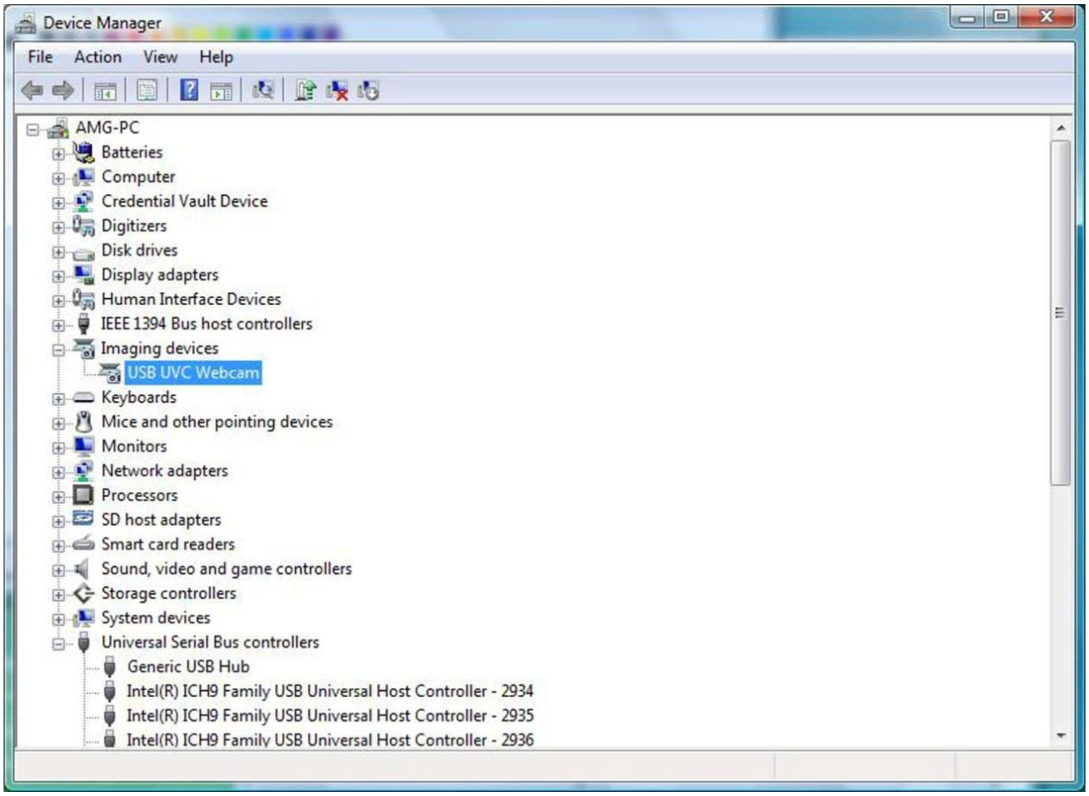
カメラ構成の検証

カメラが機能していない場合、または機能してるが断続的な場合は、次の手順にしたがってカメラ構成を検証します。

1. ［**スタート**］ボタンをクリックし、［**コンピュータ**］を右クリックして、［**プロパティ**］を選択します。
2. ［**デバイス マネージャ**］をクリックします。



3. ［**イメージング デバイス**］をダブルクリックして、［**USB UVC Webcam**］を探します。



   a. デバイスに「黄色の警告マーク」が表示されている場合、ドライバを再インストールする必要があります。
   b. **[デバイス マネージャ]** の下に**[USB UVC Webcam]** があるものの、カメラが機能していない場合、**[USB 複合デバイス]** を探し、**[プロパティ]** の **[概要]**タブで **[USB 複合デバイス]** を確認します。デバイスの USB アイコン上に「下向きの矢印」が表示されている場合、デバイスはインストールされていますが、有効にする必要があります。

4. メッセージアプリケーションでカメラが無効になっていないこと、または電源がオフになっていないことを確認します。

5. Dell Diagnostics USB Port Test（Dell USB ポート診断テスト）を実行します。
   a. USB ポートテストで 2 つ以上の USB Device Ping Test（USB デバイス Ping テスト）に不合格の場合、USB ハブボードを交換します。
   b. USB ポートテストで USB カメラモジュール Ping テストに不合格の場合、カメラモジュールを交換します。
   c. 可能であれば、正常に機能しているホットスワップ対応モジュールデバイス（カメラまたは GPS）でもう一度テストを実行します。2 つ目のホットスワップ対応モジュールデバイスがテストに不合格な場合は、USB ケーブルまたはホットスワップ対応モジュールコネクタが損傷している可能性があるため、ディスプレイアセンブリを交換します。

仕様

メモ：提供されるものは地域により異なる場合があります。コンピュータの設定に関する詳細については、**[スタート]** -> **[ヘルプとサポート]** をクリックし、コンピュータに関する情報を表示するためのオプションを選択してください。

プロセッサ	vPro 技術搭載 Intel® Core™2 Duo ULV プロセッサ（最大 SU9600（1.6GHz、800 MHz FSB、3 MB L2 キャッシュ））
チップセット	Intel® Small Form Factor Montevina Chipset
グラフィックス	Intel Integrated Graphics Media Accelerator 4500MHD
オーディオ	スピーカー x 1、ステレオヘッドフォン、ラインアウトジャック、マイク
メモリ	最大 5GB DDR3 1066MHz（1GB ダウン + 1 スロット）
保管時	HDD 160 GB 5400 RPM SATA SSD 64 GB Mobility、128 GB FDE SSD
ディスプレイ	抵抗タッチまたはデュアルタッチオプション付き 12.1 インチ WXGA DLV Outdoor-Readable (400 nit)
カメラ	（IP54 定格）一体型 2.0MP カメラ（オプション）
ポート	1394、USB 2.0 (x2)、USB 2.0/eSATA、VGA、RJ-45、オーディオ
拡張	Express 54（34 ミリと 54 ミリに対応）、SD Card スロット
ドッキング	車両ドッキング、デスクトップメディアベイ
ODD	外付け E-Family モジュラーメディアベイ（オプション）：8X DVD-ROM、24X CDRW/DVD、8X DVD+/-RW、セカンドハードドライブ
バッテリ	4-セル 28W/Hr リチウムイオンプライマリ（標準） 6-セル 42W/Hr リチウムイオンプライマリ（オプション）
スライス	9-セル 45W/Hr リチウムイオン大容量バッテリスライス（オプション）
イーサネット	10/100/1000 base-T イーサネット
WLAN	最大 Intel® WiFi® Link 5300 (802.11a/g/Draft n 3x3)
WPAN	Dell 365 Bluetooth® モジュール
WWAN	Dell Wireless 5720 EV-DOrA Mobile Broadband1 Minicard Dell Wireless 5530 HSUPA/HSDPA Mobile Broadband1 Minicard, GOBI
ホットスワップ対応モジュール	GPS レシーバまたは 2.0MP カメラ（オプション）
セキュリティ	Dell ControlVault®、Dell ControlPoint Security ManagerCable ロックスロット、一体型スマートカードリーダー、指紋リーダー、Computrace オプション、TPM 1.2
サイズ	30.9mm x 24.3mm x 3.7mm（12.2 インチ x 9.6 インチ x 1.49 インチ）
重量	2.5kg（5.5 ポンド 最小構成時）

環境試験および証明*	MIL-STD-810F に対して以下の項目の試験を個別に実施： • 3 フィート運送時落下、耐水、風塵、振動、機能衝撃、湿度、高度、温度ショック、および最高最低気温（動作時：（-23ºC から 60ºC）、不動作時：（-40ºC から 70ºC）） • IP-54 認証保護–レベル 5 粉じん保護：粉じんの混入により機器の操作が妨害されることはありません;レベル 4 飛沫水：あらゆる方向からの水の飛沫によっても悪影響を受けません

*詳しくは、「各環境試験の概要」を参照してください。

情報およびリソース詳細

こんな時は、	こちらを参照してください。
使用しているコンピュータの安全に関するベストプラクティスの詳細を参照し、保証情報、使用条件（米国のみ）、安全に関する注意事項、認可機関情報、人間工学に関する情報、エンドユーザーライセンス契約書を確認したい。	お使いのコンピュータに同梱の安全上の注意と規制に関する書類、および Regulatory Compliance ホームページ **www.dell.com / regulatory_compliance**